（名称）

第1条 本団体は、「中部大学バドミントン部」と称する。

（設置）

第2条 本団体は、中部大学クラブ運営委員会に属し、同学内に設置する。

（目的）

第3条 本会は学生本位の向上、自己の確立、及び運動精神の増養を期し、学生間の親善に寄与することを目的とする。

（活動）

第4条「中部大学クラブに関する規程」に則り、活動を行う。

第5条 第3条の目的を達成するために下記の事業に参加する。

- (1) 東海大学バドミントン選手権大会
- (2) 愛知県総合選手権大会
- (3) その他、大会の目的を達成するために必要な各種大会および事業

（組織構成）

第6条 本団体は、中部大学の学生を構成員（以下「部員」という。）として組織する。

（役員）

第7条 本団体には、顧問（2名）、部長（1名）、副部長（2名）、会計委員（2名）、外務委員（1名）、内務委員（1名）を置く。ただし、必要がある場合は、その他の役員を置くことができる。

（顧問）

第8条 バドミントン部に顧問を置く。顧問は中部大学の教職員をもって充て、学長が任命する。また、その任期は特に定めない。

（会計）

第9条 部員は活動のために、部費を納めるものとする。金額は別に定める。

第10条 会計年度は原則、4月から翌年3月までとし、年に一度、部員に会計報告を行い、承認を得るものとする。

（入部及び退部）

第11条 入部希望者は、部長にその旨を伝え、規約や規則等の説明を受け、入部願を提出する。

第12条 退部を希望する部員は、部長にその旨を伝え、退部願を提出する。

第13条 第8条において、部長は退部を希望する部員に対して、速やかに手続きを行うものとする。また、役員である者は、必ず後任を選出し、その者に引き継ぎを行った後、退部を認める。

(規約の変更)

第14条 規約の変更は、役員の会議を経た後、部員の承認を得るものとする。

(事故防止の義務)

第15条 バドミントン部の構成員全てが事故を未然に防ぐ能力を取得し、常に事故を防ぐための最善の努力をしなければならない。万一、不測の事態が発生した場合、人命救助を最優先する。

(罰則等)

第16条 部員が、以下の行為を行った場合は、その程度により、注意喚起し、又は退部を促すことがある。

- (1) 第2条の目的から外れた活動を行ったとき。
- (2) 役員が、職務を遂行しなかったとき。
- (3) 第8条に定める部費を納めなかったとき。
- (4) 本団体の活動を著しく妨害したとき。
- (5) 学生が本学の定める諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があったとき。

(規約以外の規則)

第17条 各団体で規約以外の規則を定めることができる。

- (1) 試合やルール等、バドミントンに関することは、日本バドミントン連盟の定めるところとする。

附 則

本規約は、1971年4月1日から施行する。

附 則

本規約は、2025年4月1日から施行する。